

研究会開催通知

(昭和 55 年 4 月 15 日～5 月 31 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
計 算 言 語 学	4 月 18 日 (金)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	前号参照
データベース管理システム	5 月 9 日 (金)	14 : 00～17 : 00	同 上	下記参照
コンピュータビジョン	5 月 15 日 (木)	13 : 00～16 : 30	名 大	同 上
人工知能と対話技法	5 月 19 日 (月)	13 : 00～17 : 00	電 総 研	同 上

◆ 第 19 回 データベース管理システム研究会

(主査：穂鷹良介，代表幹事：植村俊亮)

日 時 昭和 55 年 5 月 9 日 (金) 午後 2 時～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町，都営 1 号線大門，都営 6 号線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷一東京タワー線東京タワー，等々力一東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車，Tel. 03 (434) 8211]

議 題 (1) 関係 DBMS ビューサポート・サブシステムの LUP による構成法について
増永良文 (東北大・通研)

[概要] ビュー定義木上を動く LUP (Local view Update Processor) を導入することにより，関係 DBMS ビューサポート・サブシステムの一構成法を明らかにする。

(2) 日本鉄鋼連盟におけるデータベース開発の経過と現状

相良直哉 (日本鉄鋼連盟)

[概要] 鉄鋼業界における産業団体である日本鉄鋼連盟では，業界独自のデータベースを開発，運用しているが，その背景，開発経過および現状を紹介する。

(3) リレーショナル・データベース管理システム RDB/V 1

牧之内顕文，手塚正義，北上 始，佐藤秀樹，泉田義男，
安達 進，中田輝生，石川 博 (富士通研究所)

[概要] 本格的リレーショナル DBMS である RDB/V 1 の機能と構造を概説し，同システムの実働化経験に基づき，その将来性を論ずる。

◆ 第 6 回 コンピュータビジョン研究会

(主査：福村晃夫，代表幹事：高木幹雄，鳥脇純一郎，田村秀行)

日 時 昭和 55 年 5 月 15 日 (木) 午後 1 時～4 時半

会 場 名古屋大学工学部 8 号館 2 階情報工学専攻課程会議室

[名古屋市千種区不老町，国鉄：名古屋駅より，地下鉄：東山線藤ヶ丘行にて本山駅下車，徒歩 10 分，Tel. 052 (781) 5111 内線 5803]

議 題 (1) 天気図中の線図形群識別のためのアルゴリズム

後藤恒久, Le Phnoc Minh, 吉田雄二, 福村晃夫 (名大・工)

〔概要〕 天気図に含まれる経線, 緯線および等圧線を識別・抽出するアルゴリズムを与え, これを実際の天気図に対して適用した結果を示す.

(2) 格子配列に基づくテクスチャの構造記述

松山隆司, 佐分錦二郎, 長尾 真 (京大・工)

〔概要〕 布地のプリントパターン, 壁面・道路のタイル模様などの規則的なテクスチャを格子配列の重ね合せとして構造記述する手法について述べる.

(3) 重なり合った粒子像の繰返し演算による分離

坂上勝彦, 高木幹雄 (東大・生研)

〔概要〕 互いに重なり合った複数粒子のデジタル画像において, 各粒子の中心座標と半径を繰返し演算を使って正確に求める方法を提案する.

(4) SPIDER 開発を通して観たデジタル画像処理アルゴリズムの現状(5)
——領域分割——

横矢直和, 富田文明, 田村秀行 (電総研)

〔概要〕 サブルーチン・パッケージ SPIDER の開発経験をもとにデジタル画像処理分野の主要な話題をいくつか概観する. 今回は, 画像をいくつかの領域に分割する手法をサーベイする.

(5) 円柱座標系による立体表示と頭部 CT 像の3次元表示への応用

萬 淳一, 横井茂樹, 鶴岡信治, 三宅康二 (三重大・工)

長谷川純一 (名大・工)

〔概要〕 3次元デジタル画像データの立体表示の一方法として, 円柱座標を用いた表示法を提案し, CT 像の表示への応用例を報告する.

◆ 第15回 人工知能と対話技法研究会

(主査: 田中幸吉, 代表幹事: 白井良明, 田村進一)

日 時 昭和55年5月19日(月)午後1時~5時

会 場 電子技術総合研究所 4階輪講室(M 404)

[茨城県新治郡桜村梅園 1-1-4, 国鉄: 常磐線上野発(普通) 10:33

荒川沖下車 11:30, バス: 関東鉄道バス筑波大中央行 11:35 荒川沖発

並木2丁目下車徒歩2~3分, Tel. 0298 (54) 5035]

※ 交通事情の関係から上記の時間をご利用ください.

議 題 (1) 自己概念化モデルにおける推論過程 唐沢 博(阪大・基礎工)

〔概要〕 現在インプリメント中の第一種人工知能システム ASPELAN-2 の動作評価を核にして報告.

(2) How does a mobile robot understand its world?

金山 裕, 油田信一(筑波大), 飯島純一(電通大)

〔概要〕 移動ロボットの世界の静的および動的記述法について述べる. そのために世界の中に「基準方向」を設定する.

(3) データ構造処理プログラムの合成について 間野暢興(電総研)

〔概要〕 データ構造処理プログラムの合成におけるデータ構造についての記述およびプログラミングについての知識を利用した問題解決方式について述べる.

(4) 関連研究室見学

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第30回研究会を6月25日(水)東京・機械振興会館において開催いたします。講演ご希望の方は4月5日までに事務局研究会担当までお申込み下さい。

第21回通常総会のお知らせ

昭和55年度通常総会を下記によって開催いたします。総会の案内状は、別途郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時 昭和55年5月20日(火) 午後1:30~2:30

会 場 東京丸の内 東京会館(9階ローズルーム)

総会次第

1. 会長あいさつ
2. 昭和54年度事業報告および決算報告
3. 昭和55年度事業計画および予算審議
4. 昭和54年度論文賞の発表と表彰
5. 新役員の選定
6. 新名誉会員の推挙

なお、同総会に引続き、午後3:00から創立20周年記念祝典を開きます。ふるってご参加ください。詳細は本号会告(ivページ)を参照ください。

創立 20 周年記念祝典のご案内

情報処理学会創立 20 周年記念祝典は、すでに前号本欄で会告いたしましたように、来る 5 月 20 日に下記により開催いたします。会員各位のご参加をお願いいたします。

開催月日 昭和 55 年 5 月 20 日(火) 午後 3:00~8:00

祝典会場 東京丸の内 東京会館(9階 ローズルーム)

記念式典(午後 3:00~4:00)

下記の式次第で行われます。

記

- ① 会長式辞
- ② 記念事業経過報告
- ③ 来賓祝辞
- ④ 感謝状贈呈
- ⑤ 表彰状授与
- ⑥ 記念論文選考委員長報告

記念講演(午後 4:10~5:30)

講演者 永井 道雄氏

題目 新世界情報秩序への道

随意自由にご聴講願います。

記念祝賀会(午後 6:00~8:00)

- ① 開会の挨拶 (会長 小林宏治君)
- ② 祝辞
- ③ 乾杯 (初代会長 山下英男君)
- ④ 萬歳三唱 (2代会長 後藤以紀君)

祝賀会参加費は 3,000 円となっておりますので、当日、会場受付にてお納めください。

	13	14	15	16	17	18	19	20
20 周年記念祝典: 5 月 20 日(火)		通常 総会		記念 式典		記念講演		記念パーティ

20 周年記念全国大会: 5 月 21 日(水)~5 月 23 日(金) 於 日本都市センター他

情報処理学会第 21 回全国大会参加について

一般参加の方へ

1. 総受付 日本都市センター（プログラム 31 ページ参照）
 - (1) 特別・招待講演（日本都市センター・大ホール）
 - (2) パネル討論・一般講演（日本都市センターほか 5 会場）
2. 参加費 会員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）
非会員 2,000 円
3. 論文集代 定 価 6,000 円（予約価 5,000 円）
（当日予約者以外にお頒けできないのは、残部のある場合に限りです。）
4. 論文集予約 予約（4 月 30 日締切）を原則としますので、前号（3 月号）綴込みの申込書をご利用ください。
5. 参加される方は、一般受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。会期中は、参加章を胸につけないと会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、おそくとも自分の前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて、15 分を原則とします。（都合により 14 分のセッションもありますのでお含みください。）したがって時間内に十分に講演の主旨を伝えられるように、事前の準備をお願いします。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分及び 2 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認められません。
6. 補助教具として、OHP が使えます。OHP に使う原図は、B5 判程度の透明用紙に、説明の文字や線・点はなるべく簡潔に書き、よく判読できるよう準備してください。なお、掛図（3 枚以内）は、各自備付けのマグネットで黒板に止めて下さい。

その他一般注意

会場が 5 会場に分れておりますので、間違いのないよう十分ご注意ください。